

JBCF南魚沼ロード サルマが11位で奮闘



終盤まで勝負に残り
ゴールを目指すサルマ

途中には2・
5キロの長い
登り区間があ
り、レバンテ
は今季好調の
クライマー、



床井、高梨もサポートし
チーム力を見せた

「プロツアー」第
10戦の南魚沼ロー
ドレースが9月15
日、新潟県南魚
沼市で開かれ、サ
ルマ寛大が11位で
スを12周するレースで、コース
ゴールし、チームランキング4
位を維持している。
ツアー中で最もステータスが
高く経済産業大臣旗が付与さ
れる大会。三国川ダム周回コー
スを12周するレースで、コース

サルマを軸に勝負に挑んだ。
レース前半、レバンテ勢は後
方のメイン集団で様子を窺いな
がら、10周目には集団が20人
までに絞られ、サルマと高梨が
残った。

最終周、メイン集団が先頭
集団を猛追して2つに分裂。
サルマは追走の9人に入り先
頭に追いついたが、登り区間で
遅れをとり、単独でゴールを
目指して11位でフィニッシュし
た。
サルマは、「前半で床井さん
や万里王さんにサポートして
もらい、後半勝負で臨んだ。
終盤の追走集団には乗れたが、
最終周回の登りを超えられな

☆ RANKING ☆

JBCF 第10回南魚沼ロードレース

1位	林原 聖真(群馬グリフィンレーシングチーム)	3時間41分39秒
2位	アコスタ ルーベン(宇都宮ブリッツェン)	+2秒
3位	孫崎 大樹(ヴィクトワール広島)	+7秒
...		
11位	サルマ 寛大	+1分25秒
14位	高梨 万里王	+2分8秒
53位	床井 亮太	+13分7秒
DNF	夏目 天斗	

かった。次の最終戦ではチーム
一丸で最高のレースにしたい
と振り返った。



ペースアップするメイン集団で喰らいつく
サルマ(中央)と高梨(左)

登り坂が多く、獲得
標高が5000キロと
なる非常に厳しいコー
スレイアウト。8キロの
コースを20周する全長
160キロのレースは
5時間に及んだ。
18周目、ゴールに向
けた駆け引きでメイン
集団が分裂するなか、高梨が
第3集団で10位争いに加わる。
チームから唯一終盤の勝負に
残った高梨は必死で喰らいつい
たが、徐々に遅れてしまい、単
独でゴールを目指しチーム最
高位の16位でフィニッシュした。
高梨は、「最後の勝負所で遅
れてしまったが、この日を目指



最後まで懸命に踏み続けた床井

にトレーニングを積んできた成
果が出せた」と満足いく表情
を見せた。
その後、2人は集団から徐々
過酷なペースアップで20人ほ
どに絞られたメイン集団に、サ
ルマと床井も後半まで残り続
けた。サルマは集団前方で積
極的にアタックに反応する動き
も見せた。

サルマ、床井も完走

に遅れをとってしまったが、しっ
かりとペースを刻みながら最終
周に入り、完走を遂げた。
サルマは「調子良く体が動
いたが、上位の選手はさらに強
かった。また来年に向けて差を
埋められるようコツコツやって
いきたい。沿道のファンの皆さ
んの声力が力になった」と笑顔
を見せた。

☆ RANKING ☆

2025全日本選手権大会ロードレース

1位	小林 海(JCL TEAM UKYO)	4時間47分2秒
2位	山本 元喜(KINAN Racing Team)	+25秒
3位	金子 宗平(群馬グリフィンレーシングチーム)	+56秒
...		
16位	高梨 万里王	+7分20秒
17位	サルマ 寛大	+8分1秒
27位	床井 亮太	+11分
DNF	渡瀬 義雄、山口 瑛志	

2025全日本選手権大会 ロード・レース

高梨が16位、3人が初完走

Race Result

レース結果

JBCF山陽建設 広島三原ロードレース

(Jプロツアー第8戦)

7/5 開催地: 中央森林公園サイクリングコース(広島県)

1位 金子 宗平(群馬グリフィンレーシングチーム) 2時間59分00秒
5位 高梨 万里王 +33秒 18位 床井 亮太 +2分16秒
11位 サルマ 寛大 +1分2秒 DNF 渡瀬 義雄



気温35度の猛暑で開催された長距離123kmのサバイバルレース。サルマ、山口、渡瀬が前半で積極的に動き、床井、高梨はメイン集団で体力を温存。終盤では床井、サルマ、高梨が連携を見せ、上位集団のゴール勝負に食い込むことができた。

JBCF第2回 新城ロードレース

(Jプロツアー第9戦)

9/7 開催地: 作手・鳳来北西部地区公道(愛知県新城市)

1位 金子 宗平(群馬グリフィンレーシングチーム) 2時間18分44秒
6位 サルマ 寛大 +2分16秒 26位 床井 亮太 +9分51秒
17位 高梨 万里王 +9分11秒 DNF 夏目 天斗、渡瀬 義雄



きつい登りと狭い下りが危険をはらむ難易度の高いコース。クライマーのサルマをチームでアシストする作戦に。序盤の混戦では夏目が前方で位置取りしてサルマを押し上げ、終盤では高梨と共に先頭集団に残り続けて2人で上位に。

Team Schedule

今後のレース予定

10/26(日) JBCF群馬CSCロード

10月大会 (Jプロツアー最終戦)

開催地: 群馬サイクルスポーツセンター

11/29(土) バトルドリーム

開催地: 西武園競輪場(埼玉県所沢市)

選手の横顔

第5回

Profile
タイプ パンチャー
身長 182cm
体重 70kg
2001年3月23日生まれ
(24歳)
出身地 静岡県浜松市
ニックネーム ヨシオ



自身を「戦うサラリーマン」と称する。毎朝4時起きで浜名湖周辺を朝練するのが出勤前のルーティン。「正直起きるのはキツイですけど、景色が最高なので楽しめています」と仕事と自転車の二刀流で突き進む。



日中は浜松の建設会社で広報担当として勤務する。現在は会社のガレージスペースを使った新たなイベント事業を企画中。「いずれは野外音楽フェスを開催したい」と意気込みをみせる。



レース後は全員でレバンテポーズ!



急勾配の坂で選手が来るのを待ち構える

観戦会を企画した川上さんは、「サポーターの皆さんというしよに旗を振り、大声で選手の名前をコールしたことは間違いなく選手たちの力になったはず。これからファンの輪をもっと大きくして、オレンジで会場を埋め尽くしたい」と今後の展望を語った。

伊豆市で開催された全日本選手権(II記事表面)には当日、レバンテフジ静岡を応援するサポーター約30人が集まり、日

本一をかけた闘いに挑む選手たちに声援を送った。

公認ファンバサダーの川上大樹さんとチームスタッフが帯同し、サポーターとコース内の観戦スポットを移動しながら、レース状況を共有し応援した。

参加したサポーターの女性は、「大勢で応援してとても盛り上がった。レースはやっぱり

生での観戦がいちばん!」と笑顔を見せた。



スタート前に熱気が高まるサポーター

レバンテ応援団30人が集結

全日本選手権でエール

地域の皆さんとの交流やスポンサー様との活動について紹介します。



チイキ×レバンテ

スポンサーが意見交換 チーム盛り上げるアイデア発掘

スポンサーを集めた交流会「レバもり!」が7月15日、富士市内で初開催された。スポンサー同士がつながること新たな試み生まれ、チームと一緒に盛り上げる場になればと企画。スポンサー7社とスタッフが参加し、サイクルステーション運営についてのアイデアや、自転車スタンドを店に設置しサイクリストを立ち寄りやすくする案が出るなど盛り上がった。

大瀬崎サイクリングツアー 選手とポタリング楽しむ

サポータークラブ会員を対象にしたサイクリングツアーが7月20日に行われ、参加者4人が夏目天斗選手、山口瑛志選手、サルマ寛大選手と汗を流した。コースは伊豆の国市のメリダエックススペースから大瀬崎までの海岸沿い約40km。大瀬崎に到着すると富士山が綺麗に見え、休憩中に選手たちがツールボトルの中身を紹介したりと和やかなひと時を過ごした。



『私たちはレバンテフジ静岡を応援しています』 ※他 スポンサー様30社以上

MERIDA RELEX MIYATA JATCO ENOMOTO 静岡銀行 ぼこもフーズ 富士市 杉山法律事務所 アイワマージャパン 森川建設 トヨコインテッド静岡 OKITSURASEN

・レバンテフジ静岡は、法人、個人を問わず、チームの成長と活動を応援いただけるスポンサー様を広く募集しております。
・キッズ自転車教室やサイクルロードレースに関するトークショーなどのイベント、セミナー、公演、メディア出演などのご依頼を常時受け付けております。